

「安全・安心、健康」で美味しい食の提案 『カラダへの想いこの手から』のラインアップを拡大

10月2日から、全国のセブン-イレブン店舗で順次拡大開始

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：古屋 一樹）は、10月2日（火）より全国のセブン-イレブン 20,596 店（2018年8月末現在）※1で、『1/2 日分の野菜！白味噌仕立ての牛もつ丼』や『1/2 日分の野菜！トマトクリームのスूपパスタ』等「安全・安心、健康」にこだわった『カラダへの想いこの手から』の商品 20 品を順次展開いたします。

本商品群は、「健康を意識した食事を摂りたい」というお客様のニーズを、レタス 1 個分の食物繊維量が摂取できる食材を使用した商品や、1 日に必要な野菜摂取量の 1/2 以上※2使用した商品に対し、『カラダへの想いこの手から』マークを添付して、お客様への訴求を強化した、食の「安全・安心、健康」に関する取り組みです。

現在本商品群は、2018年3月の取り組み開始時と比べ、おにぎり、惣菜等 6 カテゴリーの展開から、9 カテゴリーまで拡大※3。アイテムは 10 品から 20 品まで増え、販売金額構成比も 10.4%を超えております。

今後も、食を取り巻く課題である「食事の栄養バランス」にも配慮し、美味しさを追求しながら塩分や糖質の低減にも取り組み、2020年2月までに販売金額構成比 20%※4を目指してまいります。

※1：一部取り扱いのない店舗もございます。

※2：「健康日本 21(第二次)」では野菜摂取量の目安値を生野菜換算で 1 日当たり平均摂取量 350g としています。

※3：2018年10月末時点

※4：導入カテゴリー①おにぎり、②寿司、③チルド弁当、④カップ麺、⑤うどん・焼そば、⑥グラタン・ドリア類

⑦スパゲティ・パスタ、⑧惣菜、⑨サラダ内で占める割合

※写真はイメージです。



【食の提案に関する取り組み】

本取り組みは、「持続可能な開発目標（SDGs）」17 の目標の内、「3・あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」に該当します。セブン-イレブンは、「安全・安心、健康」で美味しい商品をご提供することで、社会課題を解決してまいります。



ご参考

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

【ご参考】

■2018年10月以降に発売される商品の一例

	『1/2 日分の野菜！白味噌仕立ての牛もつ丼』 価格：462 円（税込 498 円） 発売日・エリア：10 月 9 日（火）より順次全国で発売 特長： ・人気のもつ鍋メニューに、キャベツ、もやし、人参等、1 日に必要な 1/2 以上の野菜約 180g を使用し、豆腐も加えた仕立て。 ・九州地方で馴染み深い白味噌を使用した、嗜好の変化の現れる時期に合わせて「鍋の×」をイメージした丼メニュー。 ・柔らかく煮込んだ牛もつと、かつお、昆布、あごの出汁をベースに、白味噌 2 種類と隠し味に赤味噌を使用したコクのあるスープを組み合わせ。
	『1/2 日分の野菜！6 種野菜とベーコンのペペロンチーノ』 価格：426 円（税込 460 円） 発売日・エリア：10 月 2 日（火）より順次全国で発売 特長： ・キャベツ、アスパラ、玉ねぎ、小松菜等、1 日に必要な 1/2 以上の野菜約 190g を使用。 ・女性も手に取りやすいレギュラーサイズにし、さらに野菜をしっかり摂れる健康感のある仕立て。 ・6 種類の野菜は、素材毎に炒め、茹でる調理法を用いて素材の美味しさを引き出している。
	『1/2 日分の野菜！トマトクリームのスープパスタ』 価格：426 円（税込 460 円） 発売日・エリア：10 月 2 日（火）より順次全国で発売 特長： ・トマト、玉ねぎ、ほうれん草等、1 日に必要な 1/2 以上の野菜約 270g を使用。 ・女性人気の高いスープ仕立てのパスタに野菜をたっぷり加え、健康志向の高い女性におすすめな一品。 ・スープは、香味野菜を炒め、野菜の旨味を引き出したものに豆乳を加え、コクのある味わいが特長。

【セブン&アイ・ホールディングスが特定している 5 つの重点課題】

- 1、高齢化、人口減少時代の社会インフラの提供
- 2、商品や店舗を通じた安全・安心の提供
- 3、商品、原材料、エネルギーのムダのない利用
- 4、社内外の女性、若者、高齢者の活躍支援
- 5、お客様、お取引先様を巻き込んだエシカルな社会づくりと資源の持続可能性向上

ご参考



以上